授業科目　リプロダクティブヘルスケア演習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	看護
山口　典子、塚本　康子、中山　和美、下山　博子、淺島　宏美	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

周産期における各期の正常・以上を判断するための看護技術を確実に修得する。また、看護過程演習を通して妊婦、褥婦・新生児の健康状態をアセスメントする能力を修得するとともに問題解決方法について学ぶ。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．母性看護に必要な看護技術を実践できる。
2．褥婦と新生児およびその家族のアセスメント、問題点の抽出、期待される結果、具体策を立案できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	妊婦の看護	1,2	技術演習、担当：山口　典子　他
2	妊婦の看護	1,2	技術演習、担当：山口　典子　他
3	産婦の看護	1,2	技術演習、担当：山口　典子　他
4	産婦の看護	1,2	技術演習、担当：山口　典子　他
5	褥婦の看護	1,2	技術演習、担当：中山　和美　他
6	褥婦の看護	1,2	技術演習、担当：中山　和美　他
7	新生児の看護	1,2	技術演習、担当：中山　和美　他
8	新生児の看護	1,2	技術演習、担当：中山　和美　他
9	母性看護学における看護過程	1,2	講義、担当：山口　典子
10	事例を用いた看護過程	1,2	グループワーク、担当：山口　典子　他
11	事例を用いた看護過程	1,2	グループワーク、担当：山口　典子　他
12	事例を用いた看護過程	1,2	グループワーク、担当：山口　典子　他
13	事例を用いた看護過程	1,2	グループワーク、担当：山口　典子　他
14	事例を用いた看護過程	1,2	全体発表、ディスカッション、担当：山口　典子　他
15	事例を用いた看護過程	1,2	全体発表、ディスカッション、担当：山口　典子　他

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	系統看護学講座　母性看護学各論	森恵美	医学書院	2012・2,900円＋税
参考書				
その他の資料	ガイドブック			

【評価方法】

筆記試験、技術演習・グループワーク・全体発表での参加態度や学習成果物

【履修上の留意点】